

★ チャリティワインイベント California “Wine Country’s” Finest Chefs 開催

この度、東京駅に隣接するハイクレードなガラスのタワービル「パシフィックセンチュリープレイス丸の内」内に位置する“フォーシーズンズホテル丸の内 東京 EKKI Bar&Grill”に於いて、子供地球基金のためのチャリティワインイベント California “Wine Country's” Finest Chefs が開催されました。

期間中は、4 週間に渡り、カリフォルニアの 4 つのワイナリーよりそれぞれ、ワイナリー代表と才能あふれるワイナリーシェフが来日。ワインにぴったりのフルコースをお楽しみいただく趣向で、お客様のご参加費の一部がチャリティとして 1,425,000 円が子供地球基金に寄付されました。



初日と最終日にプライベートダイニングルームにて開かれた、子供地球基金特別ディナー。会場には子どもたちの絵が飾られました。

★ 玉川高島屋 S・C クリスマスチャリティ “ホワイトエンジェルプロジェクト” 開催中

「世界中の子どもたちに平和なクリスマスを」をテーマに、玉川高島屋 S・C と子供地球基金によるクリスマスチャリティプロジェクト。5 年目を迎える今年は、子供地球基金が活動をする世界各国の子どもたちによって描かれた、合作クリスマスツリーを展示。巨大なもみの木のツリーや募金箱の設置とともに、世界中の子どもたちのクリスマス絵画展も同時開催中です。

開催期間：2006 年 11 月 15 日（水）～12 月 25 日（月）
場所：玉川高島屋 S・C 本館 1 階グランパティオ
（田園都市線／大井町線 二子玉川駅前玉川通り）
主催：玉川高島屋 S・C



★ 2007 年カレンダーができました！

2007 年子供地球基金のオリジナルカレンダーが完成致しました。(株)アマナのご厚意により作成された、子どもたちのアートが年間を通して楽しめるカレンダーです。ご希望の方は、子供地球基金事務局までメール (info@kidsearthfund.org) 又はファックス (03-5449-3962) にてお申込み下さい。

なお、子どもたちの絵がデザインされたカレンダーは毎年、さまざまな企業がオリジナルで作成して下さいます。



サイズ（組立後） 約 22 cm× 10 cm

平成 17 年度 総会開催のご報告

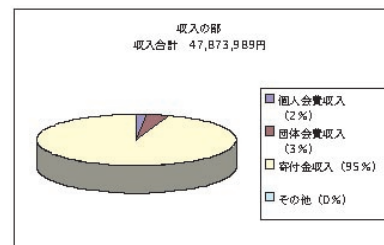
去る 11 月 17 日（金）子供地球基金事務局にて、平成 17 年度通常総会が開催され、以下の議案についてすべて承認されました事をご報告致します。

- 第 1 号議案 16 年度活動報告・収支決算
第 2 号議案 17 年度活動計画・予算案

〈平成 17 年度収支計算書（平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）〉

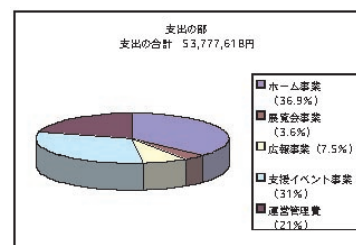
1. 収入の部

会費収入	2,673,354
寄付金収入	45,200,396
収入合計	47,873,989



2. 支出の部

ホーム事業	19,820,017
展覧会事業	1,962,393
広報事業	4,021,260
支援イベント事業	16,683,038
運営管理費	11,290,910
支出合計	53,777,618



※その他詳細につきましては、子供地球基金 HP (www.kidsearthfund.org) でもご覧いただけます。





Christmas Tree ～世界の子どもたちから～

年に一度、世界中の子どもたちが楽しみにしている日。そんなクリスマスに向けて、今年はクロアチアの第1号キッズ・アース・ホームの子どもたちが中心となり、世界各国の子どもたちが合作のクリスマスツリーを描きました。このプロジェクトは東京のキッズ・アース・ギャラリーからスタート。35枚の小さなキャンバスを縦長の長方形に並べ、その上に子どもたちが大きなツリーを描きました。その後ツリーを3つに分け、クロアチアの他、アメリカのキッズ・アース・ギャラリー、都内大学病院小児病棟の三箇所で子どもたちが、色とりどりのオーナメントをペイント。小学一年生の女の子から高校生のお兄さんまで参加し、国柄の溢れる、色鮮やかで大きなクリスマスツリーができあがりました。このクリスマスツリーは、12月25日(月)まで、世田谷区の玉川 高島屋ショッピングセンターで展示されます。皆様に素敵なクリスマスが訪れますように・・・



【参加した子どもたちの声】

●都内大学病院小児病棟より

〈17歳・男〉しばらく絵の具を使って描くことがなかったので貴重な体験だった。(できあがったツリー全体を見て)自分が描いたのはほんの一部分だったけれど、こんな風になるのは嬉しい。

●キッズ・アース・ギャラリー in USA

〈Ben〉僕たちの絵が日本に届くなんて、わくわくするよ。

〈参加者全員より〉日本とクロアチアの人たちにも素敵なクリスマスが訪れますように・・・

〈Tina Dadian (キッズ・アース・ギャラリーinUSA代表)〉プロジェクト参加のお礼を伝えと、日本語で“どういたしまして”と言う子もいました。皆、このジョイント・プロジェクトを楽しんだようです。

NEW MEMBERS

新規にご入会いただいた方々です

(個人会員)
勝部 佐智子 様 / 金子 絵里子 様 /
川北 恭世 様 / 佐藤 尚樹 様 /
長塩 道子 様 / 山中 圭 様 /

(団体会員)
日本ロレアル株式会社

(ビッグファミリー会員)
山中 圭 様
ヨハネス・ピーターセン 様

(ベトナム里親)
勝部 佐智子 様 / 高橋 奈美恵 様 /
三富 誠華 様 / 諸田 由里子 様

(2006年9月1日～12月31日現在・五十音順)



KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

コラージュに挑戦！

愛育養護学校では、今回はコラージュのワークショップを開催しました。大きなお部屋では、壁際や床に広げられた大きな白い紙に、色紙やスパンコールでコラージュ。初めは恥ずかしがって遠くから眺めていた子どもたちでしたが、スタッフが色とりどりの素材を貼っていると、次第に手を伸ばしてきました。中でもきらきら光るスパンコールは、子どもたちに大人気。大胆に散らす子や、一粒ずつ丁寧に置いてゆく子もいて、それぞれの性格が表れているようでした。別のお部屋ではかわいらしい小さな作品が作られ、完成後は大きなコラージュに貼られました。何度も参加しに来る子や、じっと集中している子、短い時間で参加してくれた子、皆それぞれにこのワークショップを楽しんでくれた様子でした。最後には絵の具も登場し、大胆に色づけされたグループ作品ができあがりました。



リチャード氏にアドバイスしてもらいながら楽しく作品作り

展覧会&アートワークショップ @川口市アートギャラリー■アトリア

10月22日(日)から11月19日(日)の1ヶ月間にわたり、埼玉県川口市にある川口市立アートギャラリー■アトリアにて『世界の子供絵画展』が開催されました。世界各国の子どもが描いた子供地球基金コレクションの絵画35点が展示され、会期中にはリチャード・ハーン氏をリーダーに、アートワークショップも2回行いました。

『行ってみたいな あの場合に』

10月22日(日)に行ったワークショップでは、「環境」という大きなテーマのもと自然について考え、自分が暮らしたい風景をイメージ。そしてそれを絵の具を使って絵で表現しました。リチャード氏が見せた海外のアーティストの作品や、ギャラリーに展示してある世界中の子どもたちが描いた絵を見、子どもたちの想像はどんどん膨れ上がりました。リチャード氏はかつては学校の美術の教師であったため、参加した子どもたちは遠近法や色の使い方などのテクニックも教わり、より自分の理想に近い「行ってみたい風景」や「住んでみたい場所」を描くことができました。いつかこんな所に行けるといいな、という想いと共にそれぞれの作品を持ち帰りました。

『バルーンで作るおもしろ動物園』

10月29日(日)、2回目のワークショップも同じくリチャード氏がリーダーとなり、今度はバルーンアートを行いました。細長い風船を膨らまし、折り曲げたりねじったりしながらいろいろな形を作っていきます。まずは簡単な犬の作り方に挑戦！長さの感覚をつかむのが難しく、出来上がってみたら胴がとっても長かったり、足が短かったり、しっぽがおサルさんのように長かったり、といろいろな犬が出来上がり、作った本人も大爆笑。それから、ちょっと高度な動物、自分でかぶれる帽子の作り方などを教えてもらいました。子どもたちはあっという間にバルーンの扱い方に慣れ、好きな動物や作ってみたい物をどんどん形にし、ギャラリーは一気にカラフルな風船で埋めつくされ、子どもの夢の国のようなでした。

「あら、不思議！びっくりカード」

11月8日(水)、キッズ・アース・カーは慈恵医大附属病院 小児病棟を訪れ、入院児童とアートワークショップを行いました。カードといってもただのカードではありません。3、4回山折にしてたたんである時には、表に□△○などの形をした色紙が貼ってあるのが見えるだけです。しかしカードを広げていくと、□△○は切り離されていくのに、そのそれぞれのパーツが組み込まれた新しい絵ができあがり、再び1つとなるのです。どんな絵を作るかは自分次第。ボランティアの方々や保育士さんと一緒に、予めいるいるな形に切っておいた色紙を組み合わせたり、自分の手でちぎった和紙を貼り付けたり、きらきら光るスパンコールでデコレーションしたりしながら、思い思いのカードを製作しました。普段は、もしかしたらカードをもらうことの方が多い入院児童たち。でも、こんな素敵な手作りカードを贈られたら、もらった人は感激すること間違いなし！



尽きることのない子どもたちの想像力



コラム

DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol. 15

平井 恵子
沼田絵本美術館 館長 / 子供地球基金理事

11年前、絵本美術館をオープンしてまもなく、知人のご紹介で鳥居さんに会った。お話を伺い、アートを通して、しかも子供達が子供達をサポートすることができる子供地球基金の活動は「まさしく私の求めていたボランティアだ！」と直感し、お話にとっても感銘を受けた。子供達の絵にはパワーがある。生命力なのか、見ているだけで楽しくなり元気が出てくる。アートには国境がない。人類、言葉、宗教の隔てを超え、誰でも平等に解り合え、感動することができる。当館で何度もさせていただいた絵画展でも、お客様の反応は嬉々としていて、国や年齢を見てわいわいとそれは楽しそうである。まさに元気を頂いているように見える。また反面、国柄によってはその背景がよくわかり、「戦争は本当によくないこと」とのメッセージを心にしっかりと感じたり、自然環境を守っていかなくてはと自分を戒めたり。以前、アウシュビッツの収容所に入れられた子供達の絵を見たことがある。ピストルから撃たれた弾がお花の絵だった。ピストルの先からお花がいくつも咲いていて空中を埋めていた。あのような状態にあっても子供は夢を持ち、いつかきっとの思いで無限の可能性を信じているのだと思った。いじめで悩み、死を考えている子供に見せたい絵だ。次代を担う子供達は地球の宝物である。その子供達がより幸せに暮らせる地球になれるように、私達大人が先ずは足元の家庭から和に取り組み、世界平和を実現させていきたいものである。



展覧会



9月22日 森美術館 (東京・港区)

●東京・千代田区

10月11日(水)～11月4日(土)
フォーシーズンズホテル丸の内 東京

●東京・港区

9月22日(金)
森美術館

●東京・目黒区

12月21日(木)
エジプト大使館

●埼玉・川口市

10月22日(日)～11月19日(日)
川口市立アートギャラリー■アトリア

●東京・世田谷区

11月15日(水)～12月25日(月)
玉川高島屋 S・C

●東京・世田谷区

12月5日(火)～12月29日(金)
日産厚生会玉川病院